

主な内容

- 平成22年度施政方針②⑤
- 市議会3月定例会 市機構改革⑥
- 十文字西中学校閉校式典・大鳥井山遺跡公開講座ほか⑦⑧
- 行政情報便⑨⑭
- 地域の話題⑮
- えがおの交差点⑯⑰
- 情報・いどばたプラザ⑱⑲
- 読者の声⑳
- 巧㉓



忘れない、十西の思い出

3月14日、十文字西中学校の閉校式典が行われました。この地域に育ち中学校で過ごした思い出を胸に、生徒全員で『ふるさと』を合唱。46年の歴史と伝統を振り返るとともに、親しんだ学び舎に別れを告げました。

(関連記事7ページ)

新たな協働のまちづくりがスタート

地域資源を掘り起こし発展をめざす



横手市議会3月定例会が3月1日から25日までの日程で開催されました。開会にあたり、五十嵐市長が行った平成22年度の施政方針の中から、主な内容を抜粋してお知らせします。(市のホームページに全文を掲載しています)

す。厳しい社会情勢にあって、守るばかりではなく、突破口を見つけ前に進もうとする工夫なくしては、地域の発展はありえません。地域に眠る資源を市民の皆様との協働で掘り起こし、今後のまちづくりに生かしていきたいと考えています。

経済対策について

市では平成20年12月に緊急雇用対策本部を立ち上げ、雇用相談窓口の設置、市内中小企業や農家向けの緊急金融対策、雇用創出事業などを実施してきました。平成21年度は国の制度に基づく緊急雇用創出臨時対策基金事業や、市単独の企業緊急雇用安定助成事業補助金、新規雇用奨励助成金などで雇用の確保に努めたほか、国の臨時交付金を活用して、住宅リフォームや住宅用太陽光発電装置設置に対する助成、公共施設の改修等の景気対策事業を実施しています。しかし、景気の先行きは

はじめに

依然として厳しい経済雇用状況が続く中、国は補正予算で「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を実施し、過去最大規模となった平成22年度予算案は「いのちを守る予算」と名付けられ、切れ目のない景気対策を行う方針を示しています。

市でも、雇用と景気対策は重要課題であり、平成22年度予算の政策事業枠の中に「経済対策分」を設けました。また、自治区制度終了にともなう新たな協働の地域づくりがスタートする年であり、組織機構の改編や、総合計画の見直しなど大きな節目を迎えま

平成22年度主要施策

■元気の出る地域づくり事業
平成20年度に各地域で策定した「地域づくり計画」に基づく「元気の出る地域づくり

平成21年度事業の進捗状況

■地域情報化の推進
大森滝ノ下・小山地区と大森武道地区の移動通信用鉄塔は、4月1日から供用開始します。ほぼ市内全域で携帯電話が使用可能となります。

■地域福祉計画の策定

住民同士の助け合いや支え合いを推進し、住みなれた地域で自立した生活を送れる仕組みづくりを目指し、「みんなが主役！みんなで作る人にやさしいまち横手」を基本理念とした地域福祉計画を策定しました。

■次世代育成支援地域行動計画(後期計画)の策定

児童育成施策の指針となる次世代育成支援地域行動計画は、平成22年度から5年間の後期行動計画では、社会状況の変化や地域のニーズを踏まえ、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮し、子育てしやすい環境の充実を目指します。

■地域支援事業の実績

認知症サポーター養成講座は、1月末で40団体、890人が受講し、地域の中で認知症の方やその家族を見守り、支援していく輪が広がったと考えています。

■除雪事業の状況

今年度は暖冬の見込みでしたが、12月中旬以降、週末ごとに降雪があり、2月15日現在、各地域局の早朝出勤は平均23回となっています。

■道路事業

くらしのみちづくり事業では、折橋四津屋線の折橋工区(大雄)、林崎下藤根線(平鹿)など3路線が完了したほか、生活路線を中心に11路線の改良を発注しています。平成18年度から整備してきた岩野目橋(山内)は10月に完成し、交通の安全が確保されました。

■街路公園整備事業

中央線街路事業は、昨年7月に事業採択され、測量設計と用地確認を実施しました。赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場は、芝の養生を終え、管理棟も完成し、平成22年度から供用を開始します。



地域にある「資源」に磨きをかけ、世界に向けて発信します

事業」は、平成22年度からは「地域づくり協議会」に引き継いで実施されます。その予算枠は、2億円に倍増することとしており、当初予算でその約4分の3を計上し、残り4分の1は地域づくり協議会の検討結果を受けて、補正予算で対応します。

■総合計画の策定

市のまちづくりの指針である「横手市総合計画」は、よこてスクラムプラン」は、前期基本計画が平成22年度までのため、平成23年度から27年度までの後期計画の策定を進めています。1月には市民3千人を対象にまちづくりアンケートを実施し、策定に当たっては、公募による計画策定委員会の設置やパブリックコメントなども実施し、民意

を反映させた、わかりやすい計画になるように努めます。

■シティブロモーション

交流人口の増加を目的に進めているシティブロモーション業務は「横手らしさに磨きをかけ、世界に発信」をテーマに、地域に眠る資源を知恵と行動で磨き上げ、時代に合った情報発信を進めることで、まちの魅力を高めていきたいと考えています。平成21年度は、B・1グランプリと横手やきそば、食と農の取組み、秋田大学横手分校の開設、出前かまくらの海外進出等の観光物産交流の取り組みに関わり、横手らしさの発信で内外にアピールしてきました。

■健康づくり推進

がん検診事業は「女性特有のがん検診推進事業」を継続し、特定健診や特定保健指導とともに、より多くの市民の皆様から受診していただくよう周知を図ります。母子保健事業は、安心して妊娠・出産

■健康の駅事業

国保加入者に対する特定保健指導は、健康の駅の指導員が地域に向き運動実践指導の支援をしています。市内3カ所の「健康の駅よこてトレーニングセンター」でも主体的に指導していきます。生活習慣病予防の指導は、実施する曜日や時間帯を改善し、市民の皆様が健康で安心して働けるようサポート体制を充実します。市内約100カ所

で実施されている社会福祉協議会の「いきいきサロン事業」の連携を強化し、膝痛や腰痛を持つ高齢者の不安解消のため、引き続き「健康の駅よこて」から「健康の駅」の普及に努めます。

■ごみ処理統合施設整備事業

平成27年度の稼働を予定しているごみ処理統合施設は、新たな候補地の選定には至らず、既存施設の隣接地を拡張する方針とし、3施設の比較検討を行い、最も適している場所の選定を進め、南部環境保全センターの隣接地を候補地とし、用地取得に向けた作業を進めています。

■子育て支援

次代を担う子ども一人ひとりの健やかな成長を社会全体で見守るといふ観点で、4月から「子ども手当」制度が開始され、中学生以下の児童1人当たり月額1万3千円が支給されます。

すこやか子育て支援事業による保育料助成は、市が県負担の減額分を補填する形で継続します。学童保育は、利用児童の増加に対応するため、4月に朝倉小学校区に専用施設を開所し、黒川小学校区及び十文字第一小学校区でも公民館等を改修対応します。



グリーンスタジアムよこて隣接地に完成し今春供用開始するグラウンドゴルフ場

平成22年度一般会計および特別会計予算

(単位:千円)

会計名	平成22年度当初	平成21年度当初	比較
普通会計	50,519,835	47,844,143	2,675,692
①一般会計	50,114,127	47,292,000	2,822,127
②障害者支援施設特別会計	264,575	258,127	6,448
③土地区画整理事業特別会計	141,133	294,016	△ 152,883
普通会計以外の特別会計 (④~⑳)	27,134,239	26,686,312	447,927
④国民健康保険特別会計	11,955,754	11,712,780	242,974
⑤老人保健特別会計	2,473	25,423	△ 22,950
⑥後期高齢者医療特別会計	923,978	949,860	△ 25,882
⑦介護保険特別会計	8,341,625	7,893,971	447,654
⑧介護サービス事業特別会計	23,508	23,021	487
⑨特別養護老人ホーム特別会計	830,992	791,698	39,294
⑩介護老人保健施設特別会計	476,232	460,681	15,551
⑪指定通所介護事業特別会計	74,631	76,802	△ 2,171
⑫市営温泉施設特別会計	743,642	778,231	△ 34,589
⑬下水道事業特別会計	3,019,071	3,459,661	△ 440,590
⑭集落排水事業特別会計	654,931	427,366	227,565
⑮浄化槽市町村整備推進事業特別会計	68,180	66,312	1,868
⑯横手町四町財産区特別会計	1,662	1,354	308
⑰横手地域財産管理特別会計	25	25	0
⑱前郷地区特別会計	3,144	3,199	△ 55
⑲西成瀬財産区特別会計	5,116	12,375	△ 7,259
⑳醍醐財産区特別会計	865	713	152
㉑里見財産区特別会計	6,500	1,300	5,200
㉒福地財産区特別会計	360	240	120
㉓館合財産区特別会計	1,550	1,300	250
特別会計 (㉔~㉖)	27,539,947	27,238,455	301,492
企業会計 (㉗~㉙)	12,822,166	13,864,407	△ 1,042,241
㉗病院事業会計	9,390,303	10,441,248	△ 1,050,945
㉘水道事業会計	3,431,863	3,423,159	8,704
合計 (①~㉙)	90,476,240	88,394,862	2,081,378

平成22年度予算編成方針

国では、地域経済を支え、地域の活力を回復させるために普通交付税に特別枠を創出し、交付税を増額します。このため、一般会計予算案では地方交付税の増額を見込み、

平成21年度に引き続き緊急雇用・経済対策事業を実施するほか、学校教育の充実を図るため、西部地区中学校統合事業や横手地区中学校統合事業などの学校施設の整備を推進します。また、県南の拠点都市として、公共交通機関への

アクセス改善を図るため、横手駅東西自由通路整備などのまちづくり交付金事業を実施します。 ※平成22年度予算の概要および主要事業は、4月15日号でご紹介します。

障がい者のグループホームの整備

障害者支援施設大和更生園に入所している軽度の障がい者の方々が、地域での生活に移行できるように、グループホームを整備し、4月には最初のホームで5人の方が生活を始めます。平成22年度は2棟目を計画し、障がい者の方々が地域で共に暮らせる社会を目指し、環境を整備します。

米の生産調整

県から配分された生産目標数量は1,489トン(率にして2.5%)の減量で、これを受けて、転作目標面積を5,700ヘクタール、配分率は36.35%で取り組むことを決定しました。米政策は大きな転換期を迎えますが、新たに実施される米所得補償モデル事業、水田利活用自給力向上事業等の活用により、引き続き農家の経営安定と戦略作物の生産振興を図ります。

商工業振興

商店街振興の取り組みや商工団体等が行う独自イベントに、賑わいを創出できるように積極的に支援し、地域の活性化を図ります。

工業振興

工業振興は、緊急雇用・経済対策の一環として、新技術の創出等に対する市独自の施策を実施し、地元企業の経営基盤の強化と産業の活性化を図り、雇用の維持や創出につながるよう支援します。

観光の振興

ご当地グルメや「出前かまくら」など、横手の特徴を活かしたPR活動を展開し、特

インターネットを活用した情報発信の強化に努めます。

引き続き、県と連携して海外の旅行代理店商談会やモニターツアーを実施し、韓国、台湾、香港など、アジア圏からの誘客活動を推進します。

横手駅周辺地区の整備

横手駅改修工事は、4月上旬に仮駅舎の建築に着手し、これが完成する7月頃から現在の駅舎を解体し、東西自由通路や橋上駅舎を建築する予定です。市街地再開発事業は、商業施設と公共施設施設の建築工事や関連事業が終了する予定で、土地建物の取得や看護学校跡地の駐車場整備の実施ですべての事業が終了します。

水道事業

緊急時給水拠点確保事業により、すこやか横手、市立大森病院、老健おおもも、白寿園までの配水管の耐震化工事を実施します。また、雄物川中央から北部への配水管布設工事、二井山地区配水管布設工事、成瀬ダム利水関連の配

水管布設工事、山内地域では石綿セメント管の更新工事等を予定しています。

上内町浄水場の改築は、設計測量業務の委託等を予定しています。

下水道事業等

下水道整備事業は、安田原・八王寺・朝日が丘・三枚橋地区(横手)、縫殿地区(増田)、船沼地区(雄物川)、下沖田・古内地区(十文字)、平鹿地域では三嶋地区の整備と、馬鞍地区の実施設計業務委託を行います。集落排水施設整備事業は、横手地域金沢地区で管路工事に着手します。浄化槽整備事業では、個人設置型浄化槽115基への助成と、市設置型浄化槽30基の整備を行います。

市立病院

横手病院は、増改築事業を終えて5月から新しい診察室で診療を行う予定です。増築棟完成後は、引き続き既存棟の改修工事を進めます。大森病院は、人間ドック・健診センターが完成し、サービスをより向上させるとともに、夕暮れ診療や女性専用外来など、利用者ニーズに対応した医療サービスを継続します。

平成22年度施策トピックス

県との機能合体

効率的で質の高い行政サービスを提供するため、県と市町村の事務機能合体等に関する研究会を2月10日に設置。9月頃までに研究成果をとりまとめます。

地域公共交通

公共交通の再編にあたり、バスやタクシーの事業者など関係団体との連携を図るため、地域公共交通に関する法定協議会を設置しました。その中でデマンド交通等の実証実験を進めていきます。

農業祭の開催

合併5周年の記念事業として農業祭を実施し、農産物のPR、元氣あふれる農業を創出する機会にします。

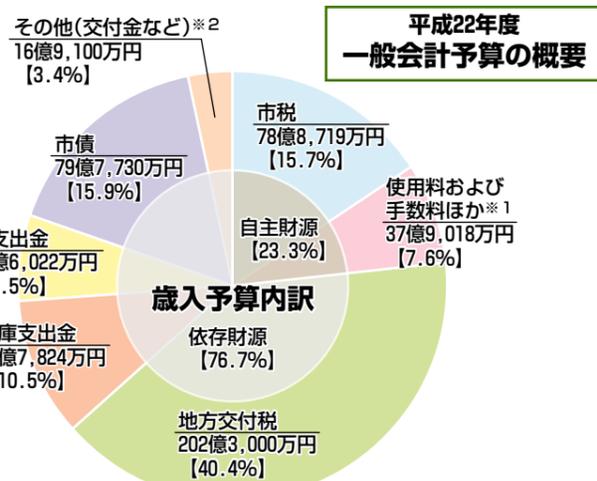
大産業祭の開催

B・1グランプリなどの地域活性化や経済波及効果をさらに発展させるため、大産業祭を開催します。

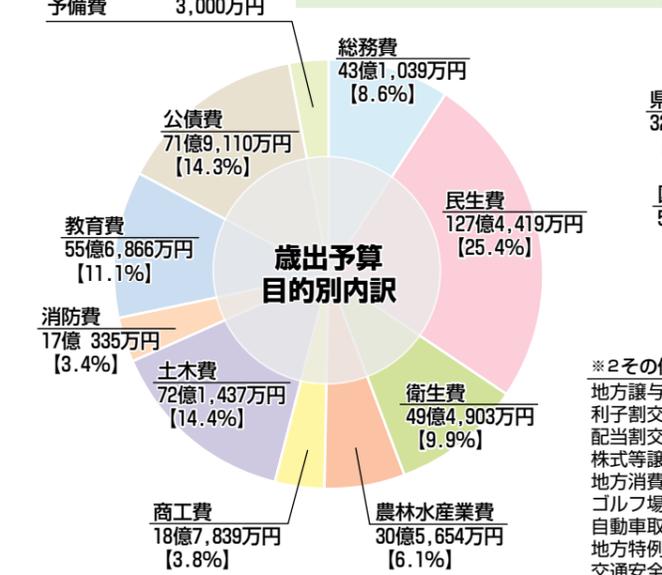
食と農からみずくへ

特産品の販売では、生産地域の良さや商品の特色を前面に出した販売強化を図るとともに、「山内いぶりがっこ」に続く特産品の開発に取り組みやすい環境を整えます。

平成22年度一般会計予算の概要



一般会計歳入歳出 総額 501億1,413万円 前年度当初比 6.0%増



分担金および負担金	4億4,984万円
使用料および手数料	6億 92万円
財産収入	1億1,547万円
繰入金	2億2,672万円
繰越金	2億 466万円
諸収入	21億9,257万円

地方譲与税	6億5,000万円
利子割交付金	1,500万円
配当割交付金	100万円
株式等譲渡所得割交付金	100万円
地方消費税交付金	8億0,000万円
ゴルフ場利用税交付金	700万円
自動車取得税交付金	1億2,000万円
地方特例交付金	8,200万円
交通安全対策特別交付金	1,500万円

1月から2月に行われた大会で市内出身選手、市内チームが好成績をあげる活躍を見せてくれました。冬季国体で優勝した向川さんとドッジボール選手権大会で全県優勝した横手南かがやキッズをご紹介します。

栄光

くしろサッポロ氷雪国体 大回転少年女子



表彰式で満面の笑みを見せる向川さん

積極果敢、向川さんが全国制覇

第65回国国民体育大会冬季大会「くしろサッポロ氷雪国体」のスキー競技が札幌市で行われ、向川桜子さん（角館高校3年・城南町）が大回転少年女子で初優勝を飾りました。2月27日、サッポロテレビで行われた同競技で、ゼッケン1番の向川さんは116選手の先陣を切って滑走。積極的な滑りで1分14秒53の好タイムを記録すると、そのタイムが最後まで掲示板の最上段を譲りませんでした。国体スキー競技では、39年ぶりの皇后杯（女子総合）優勝を果たした秋田県。その躍進に大きく貢献した向川さんは「自分らしい攻めの滑りができた。秋田に恩返しできたことがうれしい」と、高校生として最後の公式戦を振り返り



横手南かがやキッズ
第36回秋田県ドッジボール選手権大会 優勝

ドッジボール 選手権大会



式典に先立ち、十文字西中学校の校訓「思索生知」と校歌が刻まれた記念碑の除幕式が行われました

地域に支えられた46年の歴史に幕

3月14日、十文字西中学校の閉校記念碑の除幕式と式典が行われ、在校生をはじめ卒業生、保護者など350人あまりが出席しました。式典では、五十嵐市長が「十文字西中学校は、生徒たちの豊かな人間性の形成の場として、また、地域の教育、文化の象徴として大きな役割を担ってきました。今後はこれまでに以上に地域と学校の連携を図り、子どもたちが新しい時代を力強く生き抜くための学習環境を整え、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進していきます」とあいさつ。

十文字西中学校で閉校式典

藤峯千代美校長は「本校の伝統として長く受け継がれてきた『あいさつ』と『清掃』、あたりまえのことがあたりまえにできる西中の校風は、他に誇ることができません。学び舎の灯は消えても、仲間や地域との絆は消えることはありません。西中で学んだことを誇りに思い、語り継がれることを祈ります」と述べました。また、学校行事や授業風景、部活動の活躍の様子をまとめたスライドが上映され、46年間の思い出を振り返り、その後、十文字西中学校を支援してくれた地域の方や学び舎に感謝の気持ちを込めて、生徒全員で『心の中にきらめいて』と『ふるさと』を合唱。最後に出席者全員で校歌を斉唱し、校旗が市長に返納されました。十文字西中学校は昭和39年4月に植田中学校と陸合中学校が統合し誕生。3777人の卒業生を送り出した長い歴史に幕を閉じ、十文字中学校と統合して新たな歴史と伝統を刻んでいきます。

市議会3月定例会 副市長人事・補正予算

副市長に鈴木信好氏

市議会3月定例会で、副市長に鈴木信好・前市総務企画部長を選任するとともに、平成21年度補正予算が議決されました。

副市長
鈴木 信好氏
(60歳・横手市下境)



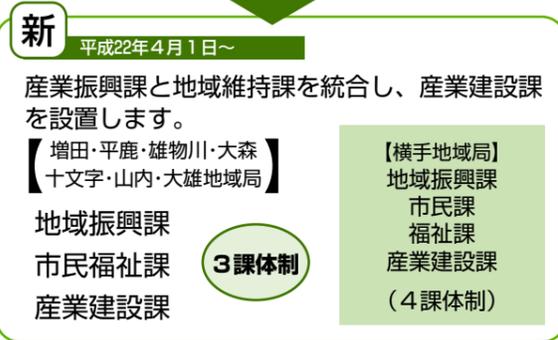
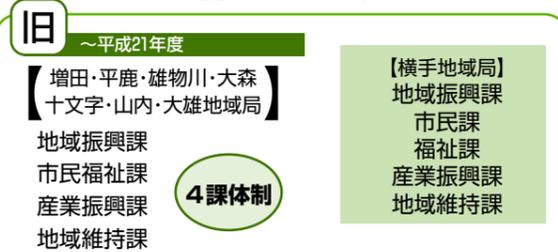
昭和24年、旧横手市生まれ。秋田経済大学付属短大卒業。昭和46年10月から旧横手市役所職員。政策調整課長、総務部次長、横手平鹿合併協議会事務局長などを経て、平成17年10月から総務企画部長。

平成21年度一般会計補正予算の主な内容

■一般会計補正額	2億6,104万2千円
◎主な補正予算	
●生活バス路線運行費補助	△3,525万4千円
●市長および市議会議員選挙費	△5,349万7千円
●特別養護老人ホーム特別会計 繰出金	1億3,090万2千円
●新型インフルエンザワクチン 接種事業	5,263万3千円
●横手病院事業費	△9,357万2千円
⊕くらしのみちづくり事業	6,860万円
⊕橋りょう補修事業	8,700万円
⊕克雪施設整備事業	5,800万円
●まちづくり交付金事業	△6,300万円
●下水道事業特別会計繰出金	△1億1,680万7千円
⊕増田小学校大規模改修事業	2億5,752万8千円
●中学校統合事業	△1億8,841万1千円
⊕体育施設改修事業	5,613万6千円
●財政調整基金積立金	1億5,678万1千円
■補正後の一般会計予算総額	539億1,401万1千円

※⊕は国の経済対策による「きめ細かな交付金事業」で実施する事業

各地域局



平成22年度機構改革

4月から市役所の組織が変わります

地域局は3課体制(横手地域)に 地域づくり支援課や危機管理室などを新設

合併時に旧市町村単位で設けられた地域自治区の設置期間が終了したことなどにもない、市では組織機構の見直しを行いました。地域局は、これまでの4課体制から3課体制(横手地域局は5課から4課)に変更されました。地域の皆様が安心してサービスを受けられるよう、地域局長をはじめ地域事情に精通した職員を配置し、窓口業務や各種相談業務などを行います。また、市民ニーズや新たな行政課題に速やかに対応できる

る組織を目指し、本庁部局も一部見直ししました。4月からスタートする地域づくり協議会の活動を支援するため、総務企画部に地域づくり支援課を設けるなど、地域づくりや産業振興、各地域で行われる行事への対応などを中心に体制を整備。本庁部局も積極的に地域に向き、業務を行う体制を整えていきます。

本庁部局

- 【総務企画部(本庁南庁舎)】 人事課、地域づくり支援課、危機管理室、駅前公共施設準備室を新設します。
- 【産業経済部(増田庁舎)】 農政課を、農業政策課(産地育成・担い手育成などを担当)と農業振興課(農業夢プラン・米の戸別所得補償などを担当)に分割します。
- 【上下水道部(横手庁舎・山内庁舎)】 水道3課(水道総務課・水道配水課・浄水課)を水道総務課と水道配水課の2課体制に再編します。

私たち、チーム・プラスY



昨年6月のスタート以来、個人参加134人と72の団体、のべ約2,500人の皆さんに参加していただき、市をあげて地産地消活動に取り組んできました。平成22年度も、引き続きチームプラスY活動の参加者を募集しますので、ぜひ皆さんの『プラスY宣言』をお寄せください。みんなで「地産地消の輪」を広げていきましょう。



食と農からのまちづくりプロジェクト
市マーケティング推進課 ☎45-5537
http://www.syoku-yokote.com/

- 「地元農産物を料理に多数活用し、お客様に安全で安心な食事をしていただきます!」【横手セントラルホテル】
- 「毎日の食事(あるいはお弁当)に、横手産のものを1品使います!」【東北農政局平鹿平野農業水利事業所】
- 「企業一丸となって地産地消を実践し、全ての作業場で広告PR活動を行います!」【渡部工業有限会社】

行政情報便

健診

平成22年度健(検)診のお知らせ

平成22年度の健(検)診を次の日程で行います。自身の健康のために各種健(検)診を受診しましょう。なお、下記に該当する方は健(検)診料が無料となります。

◆健(検)診料金が無料になる方

- ・75歳以上の方
- ・生活保護受給世帯で『緊急時医療依頼証』を提示の方
- ・65～74歳で『後期高齢者医療被保険者証』を提示の方
- ・『市民税非課税世帯証明』を提示の方（肝炎ウイルス検診・骨粗鬆症検診のみ）

◆問合せ

市福祉環境部保健衛生課（大雄庁舎内） ☎35-2185、または各地域局市民福祉(福祉)課

■協会けんぽ(旧社会保険)加入の方へ

協会けんぽ(旧社会保険)加入の40歳以上75歳未満の被扶養者の方は、集団健診(特定健診)の受診ができます。事前に各地域局健診担当に連絡のうえ、協会けんぽ発行の受診券と保険証を持参し受診してください。

◆健(検)診日程

【横手】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、大腸がん・前立腺がん検診、胸部検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病予防健診		5/27・28・31、6/1～4・7・11・14～17・23～25・28～30、7/1・2
胃がん検診		8/18～20・23～27・30・31、9/1・2
子宮がん・乳がん・卵巣腫瘍検診		詳細未定
骨粗鬆症検診		11/16～19

【増田】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、大腸がん・前立腺がん・胃がん検診、胸部検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病予防健診		5/7・10～14・17～21・24～26
子宮がん・乳がん・卵巣腫瘍検診		7/12～16・20～23・26

【平鹿】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、大腸がん・前立腺がん検診、胸部検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病予防健診		4/26～28、5/6・7・10～14・17～21・24・25、6/18
胃がん検診		7/1・2・5～9・12～16
子宮がん・乳がん・卵巣腫瘍検診		8/9～11・18～20・23～27・30・31
骨粗鬆症検診		9/2

【雄物川】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、大腸がん・前立腺がん検診、胸部検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病予防健診		6/21～25・28～30、7/1・2・5～9
胃がん検診		4/9・12～16・19～23・26～28
子宮がん・乳がん・卵巣腫瘍検診		9/6～10・13・14
骨粗鬆症検診		9/9

◆健(検)診料金

健(検)診名		健(検)診料金
特定健診・後期高齢者健診		無料
胸部検診	肺がん検診	300円(65歳以上は無料)
	結核検診	無料
大腸がん検診		600円
前立腺がん検診		1,000円
胃がん検診		1,000円
子宮がん検診		1,000円または1,200円※
卵巣腫瘍検診		500円または800円※
乳がん検診		1,500円
骨粗鬆症検診		600円または800円※
肝炎ウイルス検診		800円
生活習慣病予防健診		2,100円
歯周疾患検診		無料

※検診方法により料金が異なります。

【大森】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、大腸がん・前立腺がん検診、胸部検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病予防健診		7/12～16・20～23・26・27、8/1、9/2
胃がん検診		4/16・19～23・26～28・30、7/12、9/2
子宮がん・乳がん・卵巣腫瘍検診		10/14・18～22・25～28
骨粗鬆症検診		10/29

【十文字】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、大腸がん・前立腺がん検診、胸部検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病予防健診		7/28～30、8/2～6・9・17～20・23・24・31
胃がん検診		5/11～14・17～21・24～28・31、6/1・2
子宮がん・乳がん・卵巣腫瘍検診		5/17～21・24～27
骨粗鬆症検診		6/17・18

【山内】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、大腸がん・前立腺がん・胃がん検診、胸部検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、生活習慣病予防健診		6/2～4・7～11・14～17、7/30
子宮がん・乳がん・卵巣腫瘍検診		6/18・21・22、7/5～9、8/2

【大雄】	健(検)診名	健(検)診日程
特定健診、後期高齢者健診、胸部検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、大腸がん・前立腺がん・胃がん・子宮がん・乳がん検診、卵巣腫瘍検診		5/10～12・17～19・24～26・31、6/1・2・7～9・14～16・21・22
大腸がん・前立腺がん・胸部検診、胃がん・子宮がん・乳がん検診、卵巣腫瘍検診		7/27～29、8/3・4
肝炎ウイルス検診		
生活習慣病予防健診		8/5

市報の訂正とお詫び

市報よこて3月15日号の記事に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫びします。

●4ページ下段、「秋田大学客員教授・西木正明氏講演会」の記事中、中段8行目から9行目にかけて「日清戦争」とあるのは「その9年後の日露戦争」の誤りでした。また、下段5行目の「日露戦争」は「日中戦争」の誤りでした。5ページ上段、「元氣なふるさと秋田づくり顕彰」の記事中、横手ハンダ研究会ソリの受賞は誤りで、顕彰を受けたのは5団体でした。また、大屋梅保存会代表者が「戸田義昭会長」とあるのは「伊藤鐘吉会長」の誤りでした。



多くの市民が詰めかけ、遺跡や歴史への関心の高さがうかがえました

市報よこて3月15日号の記事に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫びします。

●4ページ下段、「秋田大学客員教授・西木正明氏講演会」の記事中、中段8行目から9行目にかけて「日清戦争」とあるのは「その9年後の日露戦争」の誤りでした。また、下段5行目の「日露戦争」は「日中戦争」の誤りでした。5ページ上段、「元氣なふるさと秋田づくり顕彰」の記事中、横手ハンダ研究会ソリの受賞は誤りで、顕彰を受けたのは5団体でした。また、大屋梅保存会代表者が「戸田義昭会長」とあるのは「伊藤鐘吉会長」の誤りでした。

市内初の国指定史跡となつた『大鳥井山遺跡』の公開講座と展示会が、3月13日にかまくら館で開かれ、歴史に興味を持つ市民など約350人が参加しました。

講座では、市文化財保護課の担当職員が、大鳥井山遺跡の歴史的価値などを説明。同日

金沢柵、沼柵を知る手掛かりに

国指定史跡『大鳥井山遺跡』公開講座 展示会

遺跡は平安時代の豪族・清原氏の居館跡とされ、城館跡として11世紀の姿がそのまま残る数少ない遺跡であることから、前九年・後三年合戦時代を解明する貴重な資料となることや、同時代の金沢柵(市内雄物川内金沢)や沼柵(市内雄物川町)の場所の推定などで大きな手掛かりとなるといったことが報告されました。また、秋田市教育委員会と県教育庁の文化財担当者が、同遺跡と秋田城跡や松田柵跡との関連について講演しました。

展示会では、同遺跡から見つかった出土品や写真、図絵など約300点が公開され、展示解説も行われました。

市職員退職者

平成22年3月31日付

- ◆金澤豊子(総務企画部総務課主幹) ◆高橋健幸(財務部長)
- ◆高橋隆一(財務部資産課長)
- ◆奥清治(福祉環境部長) ◆皆川榮(福祉環境部東部環境保全センター所長) ◆斎藤正樹(福祉環境部西部環境保全センター所長) ◆櫻谷久正(福祉環境部南部環境保全センター副主幹) ◆照井薫(福祉環境部横手衛生センター所長) ◆飯沼博(福祉環境部横手衛生センター主査) ◆石川博(福祉環境部雄物川衛生センター所長) ◆佐藤ヨネ子(福祉環境部障害者支援施設大和更生園総括調理員) ◆小林マサ子(福祉環境部子育て支援課長) ◆岩谷玲子(福祉環境部子育て支援課主幹) ◆石田ヤエ子(福祉環境部高齢ふれあい課介護士主査) ◆鶴田幸子(福祉環境部高齢ふれあい課総括介護員) ◆高安一夫(福祉環境部特別養護老人ホーム白寿園施設長) ◆菊地照子(福祉環境部特別養護老人ホーム白寿園介護士主任) ◆佐藤恵美子(福祉環境部特別養護老人ホーム白寿園看護士主任) ◆伊藤富子(福祉環境部特別養護老人ホーム白寿園看護士主任) ◆土田晴吉(福祉環境部介護老人保健施設老健おもしろ主幹) ◆柏加屋俊夫(産業経済

- 部次長) ◆長里恒夫(上下水道部長) ◆田口春久(会計管理者) ◆畠山仁(議事事務局) ◆最上康吉(選挙管理委員会事務局) ◆高橋幸雄(監査委員事務局) ◆菅永義(教育指導部学校教育課長) ◆河西厚子(平鹿学校給食センター総括調理員) ◆加藤正志(横手生涯学習センター所長) ◆五十嵐久一(雄物川生涯学習センター所長) ◆得平次夫(山内生涯学習センター所長) ◆村岡徳夫(大雄生涯学習センター所長) ◆大極直人(浅舞小学校総括校務員) ◆小川優(陸合小学校総括校務員) ◆冨田敏雄(横手地域局保健センター所長) ◆岩井川邦子(増田地域局地域振興課副主幹) ◆遠藤登(増田地域局市民福祉課長) ◆眞坂進(増田地域局市民福祉課上席主幹) ◆天童順子(増田地域局市民福祉課副主幹) ◆佐藤カヅ(増田地域局市民福祉課主査) ◆児玉アキ子(増田地域局まさだ保育園園長) ◆原ヨシミ(平鹿地域局次長) ◆遠藤定信(平鹿地域局地域維持課長) ◆高橋正文(平鹿地域局地域維持課副主幹) ◆小西正起(雄物川地域局市民福祉課長) ◆藤田重一(雄物川地域局地域維持課副主幹) ◆越後信子(大森地域局市民福祉課主査) ◆上田由美子(大森地域局川西保育所保育士主査) ◆齋藤実(十文字地域局次長) ◆齋藤実(十文字地域局市民福祉課主査) ◆近のり子(十文字地域局植田

- 保育所保育士主査) ◆藤谷義光(十文字地域局産業振興課長) ◆山初寛(山内地域局地域振興課総括運転士) ◆山下義信(山内地域局市民福祉課副主幹) ◆高橋君子(山内地域局さんない保育園園長) ◆佐々木一枝(山内地域局さんない保育園保育士副主幹) ◆高橋隆一郎(山内地域局地域維持課長) ◆佐々木康子(大雄地域局たいゆう保育園園長) ◆奥山博夫(大雄地域局地域維持課総括業務員) ◆中村昭彦(福祉環境部社会福祉課副主査) ◆厚生労働省へ帰任)

■消防職員

- ◆佐藤茂(消防本部次長) ◆佐藤憲悦(消防署長) ◆斎藤慶司(消防署副署長) ◆佐々木雄得(増田分署副主幹) ◆照井幸太郎(消防署機械係長)

■病院職員

- 【市立横手病院】 ◆神崎正俊(診療科泌尿器科科長) ◆小川和孝(診療科呼吸器内科医員) ◆小田嶋千枝子(看護科看護師) ◆小棚木美香(看護科看護師) ◆佐藤けい子(看護科看護師) ◆伊藤美代子(看護科看護師)
- 【市立大森病院】 ◆奈良光彦(診療科内科医員) ◆奈良藍子(診療科内科医員) ◆渡辺静代(看護科看護師) ◆幕内章子(看護科看護師)

平成22年度の職員体制は、次号でお知らせします。

子育て 未来を担う子どもたちを応援！ 4月1日から『子ども手当制度』が始まります

子ども手当制度

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの成長を社会全体で応援することを目的に、平成22年4月から児童手当に代わり『子ども手当』が支給されます。

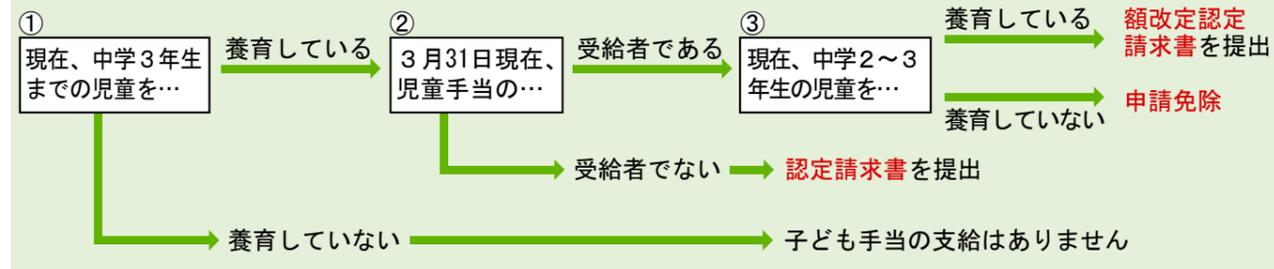
◆申請方法

子ども手当を受給するには『認定請求』の手続きが必要です。対象となる世帯には4月中旬に通知しますので、指定された期限までに手続きを済ませてください。
※児童の養育状況やこれまでの児童手当受給状況によって手続き方法が異なります。

◆制度概要

	児童手当(3月まで)	子ども手当(4月以降)
対象児童	0歳～小学校6年生	0歳～中学校3年生
受給者	対象児童を養育する保護者	
支給額	3歳未満 月額10,000円 3歳以上 月額 5,000円	月額13,000円
支給月	2・6・10月の年3回(前月までの4カ月分を支給)	
所得制限	有	無

【私の手続き方法は…?】



※認定請求書の提出時に必要な書類などは、後日通知する文書または窓口での指示に従ってください。
※これまでと同様に、毎年6月に養育状況を記載した『現況届』を提出していただく必要があります。
※平成22年6月は、2・3月分の児童手当と4・5月分の子ども手当が同時に支給されます。
◆問合せ
市福祉環境部子育て支援課(大森庁舎内) ☎35-2133、または各地域局福祉担当

子育て 今年度も市が負担を上乗せして応援します！ 保育料助成制度(すこやか子育て支援事業)

保育料助成制度(すこやか子育て支援事業)

すこやか子育て支援事業は秋田県が独自に実施している事業で、県と市町村が対象経費の2分の1ずつを負担することによって、保護者の方々の負担する保育料を軽減している制度です。
県では、平成21年8月から一部対象者の助成率を2分の1から4分の1に引き下げる制度改正をしていますが、市では平成21年度に引き続き、市の負担を上乗せし、これまでと同様の助成率で応援します。

◆年齢区分などによる助成率

	対象児童	助成率	負担割合
①	平成18年4月1日以前に生まれた第3子以降の児童	全額補助	県 1/2
			市 1/2
②	平成17年4月2日以降に生まれた児童	2分の1助成	所得税非課税世帯 県 1/4、市 1/4
			所得税課税世帯 県 1/8、市 3/8
③	平成17年4月1日以前に生まれた児童	4分の1助成	県 1/8
			市 1/8

◆留意点

- * 所得税の課税・非課税は国の認可保育所徴収金基準額表の区分によります。(第3階層以下が非課税世帯/第4階層以上が課税世帯)
- * 所得制限基準額は現行どおりです。(県の乳幼児福祉医療制度と同じ)

◆問合せ

市福祉環境部子育て支援課(大森庁舎内) ☎35-2133、または各地域局保育担当



募集 男女共同参画推進協議会委員を募集します

誰もがお互いの個性や能力を認め合い、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会の実現に向けて、市民の皆さんと協働で事業を実施するため、男女共同参画推進協議会委員を募集します。今年度は新たな男女共同参画行動計画を策定するため、年3回の会議と計画策定会議を4～5回程度行います。

- ◆応募資格 18歳以上の方(他の審議会委員などは除く)
- ◆募集人数 男女各1人 ※応募多数の場合は書類選考
- ◆任期 委嘱の日から平成24年3月31日まで
- ◆応募方法
氏名・住所・生年月日・連絡先を明記し、400字程度の作文(テーマ『私が考える身近な男女共同参画』)を添えて、郵送・ファクス・メールなどでお申込みください。
- ◆募集期限 4月23日(金) 必着
- ◆申込み・問合せ
〒013-8601 横手市条里一丁目1番1号
横手市役所 総務企画部男女共同参画・市民協働推進室
☎35-2158、☎33-6061、✉danjo@city.yokote.lg.jp

国保 倒産などで失業した方へ 国民健康保険税が軽減されます

倒産・解雇・雇い止めなどにより失業した場合でも、安心して医療を受けられるよう国民健康保険税を軽減する制度が始まります。
軽減を受けるためには届出が必要です。早めの手続きをお願いします。

- ◆対象者
平成21年3月31日以降に離職し、次のどちらかに該当する方
①倒産・解雇などで離職した「雇用保険の特定受給資格者」
⇒雇用保険受給資格者証の離職理由:11,12,21,22,31,32
②雇い止めなどで離職した「雇用保険の特定理由離職者」
⇒雇用保険受給資格者証の離職理由:23,34
- ◆軽減内容
国保税の算定や高額医療費などの所得区分判定を、対象者の前年の給与所得を30%に減額して行います。
- ◆軽減期間 離職の翌日から、その翌年度末まで
例) 離職日が平成21年12月31日⇒平成22年度のみ対象
離職日が平成22年3月31日⇒平成22・23年度対象
- ◆届出方法
①雇用保険受給資格者証、②印鑑、③社会保険資格喪失証明書(国保に新規加入の場合)を持参し、各地域局市民福祉(市民)課で手続きしてください。
- ◆国保税の軽減に関する問合せ
市財務部市民税課(横手庁舎内) ☎32-2510
各地域局地域振興課
- ◆高額療養費などに関する問合せ
市福祉環境部国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2186
各地域局市民福祉(市民)課
- ☆この軽減制度の対象とならない方も、分割納付や減免の制度がありますのでご相談ください。

採用 平成22年5月採用 市立横手病院職員を募集します

- 平成22年5月採用の市立横手病院職員を募集します。
- ◆職種 診療情報管理士
- ◆採用予定人数 1名
- ◆受験資格
・昭和50年5月2日以降に生まれた方
・採用後、通勤に支障のない範囲に居住できる方
・診療情報管理士資格を有する方
- ◆採用予定年月日 平成22年5月1日
- ◆試験期日 4月25日(日) / 市立横手病院
- ◆受付期限 4月19日(月) 必着
- ◆申込み 〒013-8602 横手市根岸町5-31
市立横手病院総務課 ☎0182-32-5001
- ※試験案内・申込用紙は、市立横手病院にあります。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、宛先を明記して120円切手を貼った返信用封筒(角型2号)を同封のうえ、市立横手病院総務課にお送りください。申込用紙等は市立横手病院ホームページからもダウンロードできます。

介護保険 4月から『受領委任払い制度』開始 福祉用具の購入や住宅改修が利用しやすくなります

これまで介護保険で福祉用具の購入や住宅改修を行う場合は、利用者がいったん事業者で費用全額を支払い、後で市から保険給付(全体の9割)を受け取るものでした。市では、この一時的な利用者の負担を軽減させるため、4月1日から『受領委任払い制度』を始めました。これは、利用者の負担を始めから費用の1割として、後で市が事業者に残りの9割を給付するというものです。
この制度は市に受領委任の届出をしている事業者が対象となりますので、事前にご確認ください。なお、事業者は随時受け付けています。※受領委任の届出をしていない事業者の場合は、従来の方法で給付します。
◆受領委任払いのメリットは?
* 利用者は、はじめから対象費用の1割を負担
* 利用者の一時的な費用負担の軽減により、業者への依頼がしやすい

◆問合せ
市福祉環境部高齢ふれあい課(大森庁舎内) ☎35-2134、または各地域局市民福祉(福祉)課

住宅 住宅リフォーム費用を補助します

生活環境の向上と経済危機対策として、市内産業の雇用創出を図るため、住宅の修繕や増築工事を行う方を対象に工事費用を補助します。また、県で行っている『秋田県住宅リフォーム緊急支援事業』の補助金交付申請書の取次ぎも行っています。

◆問合せ
市建設部建築住宅課(横手庁舎内) ☎35-2224、☎33-3429

国民年金 4月から申請受付開始
平成22年度 学生納付特例制度

所得が少なく保険料を納めることが困難な学生の方は申請により保険料の納付が猶予される学生納付特例制度をご利用いただけます。

納付特例期間は年金額には反映されませんが、受給資格期間に算入されます。また、納付特例期間中に事故や病気などで障がいが残った場合、障害年金が受給できます。未納のままにせず、学生納付特例をご利用ください。

- ◆対象 20歳以上の学生
- ◆手続き 住民票のある市町村国民年金担当窓口にて
※申請は毎年必要になります
- ◆持ち物 年金手帳、印鑑、学生証のコピー・在学証明書
- ◆問合せ 市福祉環境部国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2186、または大曲年金事務所 ☎0187-63-2296

農業 平成22年度農振除外申出を受けます

市では農業振興地域を定め、農用区域での農地転用や土地の開発行為について規制しています。

農用区域の農地転用や土地の開発行為を行う場合は、当該地を農振農用区域から除外する必要があります。

除外の際は、市の農業振興地域整備計画の変更手続きをお願いします。なお、転用が必要な農業用施設についても、軽微な変更(用途変更)手続きが必要ですので、各地域局産業建設課で手続きしてください。

- ◆申出期限 4月23日(金)
- ◆計画変更 8月下旬(予定)
※許可を得ずに農地転用や開発行為を行った場合は、法令により罰せられますのでご注意ください。
※農業用施設の場合は随時変更します。
※申出しても除外できない場合があります。
- ◆問合せ 市産業経済部農業政策課(増田庁舎内) ☎45-5522、または各地域局産業建設課

権限移譲 市が行う県からの権限移譲事務について

手続きの利便性の向上や迅速化につながる県から市への権限移譲事務について、4月から下記の事項が追加になりました。県と市の役割を見直し、市が自立的・主体的に個性豊かな地域づくりを展開することで、総合的な行政サービスを直接提供することができるようになります。

移譲対象事務	事務の内容	問合せ先
簡易専用水道の改善の指示	簡易専用水道の衛生指導および設置届出の受理等の事務を行います。	福祉環境部保健衛生課(大雄庁舎) ☎35-2185
採石業者の登録	採石業を行おうとする方からの登録申請書を受理し、審査を行ったうえで登録を行うほか、これに付随する各種届出の受理等の事務を行います。	産業経済部商工労働課(増田庁舎) ☎45-5516
岩石の採取計画の認可	岩石の採取を行おうとする方からの採取計画を受理し、審査を行ったうえで認可を行うほか、必要に応じ採取計画の変更認可、変更命令、立入検査等の事務を行います。	建設部建設監理課(十文字庁舎) ☎42-5112
砂利の採取計画の認可	砂利採取に伴う災害防止のため、砂利採取計画の認可に関する事務および砂利採取場の立入検査等を行います。	建設部建設監理課(十文字庁舎) ☎42-5112

補助金 市民主体の活動を応援します！
「みんなが主役のまちづくり活動補助金」受付開始

市民の皆さんが主体的に行うまちづくりを応援し、地域の活性化を図る活動を支援するために、平成22年度分『みんなが主役のまちづくり活動補助金』の申し込みを受け付けします。魅力あるまちづくりのために、ぜひご活用ください。

- ◆交付目的 市民活動を元気づけ、地域の活性化を図るための、主体的なまちづくりを応援します。
- ◆補助対象者 市内に活動の場を置く団体等で、新規の活動やすでに取り組んでいる活動を拡充しようとする場合に補助金を交付します。
- ◆補助対象経費 原則として、総事業費が20万円以上の事業に要する経費を対象としますが、団体等の運営経費、食糧費に相当する経費、そのほか適当でない認められる経費は、補助対象外となります。
- ◆補助金額 ①補助率 補助対象経費の2分の1以内
②限度額 事業1件につき50万円を上限に予算範囲内
※継続事業の場合は事業の自立を促すため、補助金の交付期間を原則3年までとします。
- ◆補助決定方法 書類審査とヒアリングにて、補助金交付の適否および予算の範囲内で補助額を決定します。
- ◆受付期間 前期=4月5日(月)~30日(金) ※後期受付は8月
- ◆申込方法 地域づくり支援課、または各地域局地域振興課で配布している申請用紙に記入して提出してください。要綱、申請用紙は市ホームページからもダウンロードできます。
- ◆問合せ 市総務企画部地域づくり支援課(本庁南庁舎内) ☎35-2158
ホームページ <http://www.city.yokote.lg.jp/>

福祉 障がいを持つ方の費用負担の軽減のために
タクシー利用券の交付と通院交通費を助成します

障がいを持つ方の通院などにかかる費用の負担軽減のため、タクシー利用券の交付と通院交通費を助成します。申請する場合は、各地域局市民福祉(福祉)課までお越しください。

- タクシー利用券
- ◆対象者
 - 身体障害者手帳1級から3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方
⇒1カ月につき2枚、年24枚まで交付
 - 腎臓機能障がい(1級から3級)で、透析治療のために週2回以上通院している、非課税世帯の方
⇒1カ月につき4枚、年48枚まで交付
- ◆持参する物 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、印鑑
- 通院交通費
- ◆対象者
 - 腎臓機能障がい(1級から3級)で、透析治療のために週2回以上通院している方
⇒3カ月ごとにタクシー基本料金相当額を支給
- ◆持参する物 身体障害者手帳、特定疾病療養受療証または自立支援医療受給者証、交通費の振込先となる預金通帳等、印鑑
※通院交通費を申請した場合、タクシー利用券の交付不可
- ◆問合せ 市福祉環境部社会福祉課(大森庁舎内) ☎35-2132、☎26-2118

保険 平成22年度から後期高齢者医療保険料率が変わります

後期高齢者医療制度の保険料率は2年ごとに改定されることになっており、今年度の保険料率は下記のとおりです。改定後の保険料率に基づく保険料額は、7月中旬頃に通知する予定です。なお、所得が一定以下の世帯に適用される保険料の軽減措置については、昨年と同じ割合です。

- 平成22年度の保険料率
 - 均等割額…38,925円(平成21年度まで 38,426円)
 - 所得割率…7.18%(平成21年度まで 7.12%)
- 後期高齢者医療保険料の内訳
 - 保険料額=均等割額+所得割額(基礎控除後の総所得金額×所得割率)
 - *均等割額…県内の加入者全員が等しく納める金額
 - *所得割額…加入者本人の所得に応じて納める金額

●平成22年度からの均等割額の軽減措置(軽減割合の変更はありません)

世帯主および被保険者の総所得金額等が下記基準以下の世帯	軽減割合	均等割額	昨年度まで
基礎控除額(330,000円)	8.5割	5,800円	5,700円
被保険者全員の年金収入が80万円以下でその他の所得がない世帯	9割	3,800円	3,800円
基礎控除額(330,000円)+245,000円×被保険者数(世帯主である被保険者を除く)	5割	19,400円	19,200円
基礎控除額(330,000円)+350,000円×被保険者数	2割	31,100円	30,700円
後期高齢者医療制度加入前に被用者保険の被扶養者であった方	9割	3,800円	3,800円

●所得割額の軽減措置(軽減割合の変更はありません)

被保険者本人の総所得金額等(基礎控除後)	軽減割合
58万円以下 (年金収入のみの場合は153万円~211万円以下)	5割

教育 市立小中学校の工事が始まります

現在、市内では小中学校の耐震補強などの工事を進めています。今年度は下記日程で学校の工事をを行います。

◆工事日程・内容

学校名	工事時期(予定)	内容
吉田小学校	4月~11月	体育館改築工事(解体を含む)
田根森小学校		
醍醐小学校	7月~10月	耐震補強、外壁等改修工事
雄物川北小学校		
十文字第一小学校		
陸合小学校		耐震補強、屋根・外壁等改修工事
増田小学校	7月~11月	屋根・外壁の改修、便器増設工事
横手南中学校	4月~11月	耐震補強、大規模改修工事
横手明峰中学校	5月~平成24年2月	土地造成・新校舎建設工事

- ◆市民の皆さまへ
工事期間中は事故防止に努めますが、騒音や塗装のにおい、大型車両等の通行量の増加などでご迷惑をおかけします。児童生徒の安全安心な学校生活のための工事ですので、ご理解・ご協力をお願いします。
- ◆問合せ 市教育委員会教育総務課(雄物川庁舎内) ☎22-2151

- ◆問合せ 秋田県後期高齢者医療広域連合 ☎018-853-7155
・保険料は… 市民税課(横手庁舎内) ☎32-2510
・医療給付は… 国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2186

安心して暮らせる社会を目指して

■介護保険サービス事業所合同研修会

3月4日、市内の介護サービス事業者を対象にした研修会が市役所南庁舎で開かれ、約200人が参加しました。市立大森病院の小野剛院長をコーディネーターとして行われたパネルディスカッションでは、各サービスの代表者らが実例を踏まえた課題などを討議。参加者は、熱心に耳を傾け、直面する問題意識の共有を図りました。現在、何らかの支援や介護が必要とされる高齢者は約6千人。今回の参加者をはじめ、介護や福祉に携わるみなさんの使命感と情熱が横手の介護を支えています。



「福祉サービスにおける医療依存度の高い方への対応について」をテーマに行われたパネルディスカッションの様子



慎重にねらいを定めてボールを投じる参加者

39チームが熱戦繰り広げる

■スポーツ交流大会スマイルボウリング

3月6日、大森体育館で市スポーツ交流大会が行われ、およそ200人がスマイルボウリングを楽しみました。これは、生涯スポーツの振興と市民の体力づくりや親睦を目的に、市体育指導委員会と教育委員会が主催したもの。スマイルボウリングの盛んな大森地域を中心に、市内から39チームが参加して、4ないし3チームによるリーグ戦と各ブロック1位によるトーナメント戦を行いました。初心者から熟練者まで和気あいあいとプレーし、よこてスポーツクラブチームが優勝を飾りました。

春、目前。冬の寒さに打ち勝つ

■木戸五郎兵衛神社初午祭り(雄物川)

3月21日、沼館地区にある木戸五郎兵衛神社で『初午祭り』が行われました。これは旧暦2月の初午の日に、商売繁盛・家内安全などを祈願して行われ、春を目の前にして、長い冬を打ち破るといふ伝統行事です。男衆の力強い「ジョヤサ」の掛け声とともに、地域や商工会など6本の梵天や恵比寿俵が威勢よく奉納されました。その後は、境内にあるヤグラから餅まきが行われ、訪れた人々は寒さにも負けず、ご利益のある餅やお菓子拾いを楽しんでいました。



転倒者が続出するほどに、勢いよく奉納する男衆

行政情報便

65歳以上のみなさんへ 各種サービス券を配布します



65歳以上のみなさんを対象に、平成22年度の各種サービス券を4月1日よりお渡しします。

- 『健康づくり入浴サービス券(高齢者入浴サービス事業)』と『はり・きゅう・マッサージ施術券』を各地域局福祉担当課でお渡しします。
ご希望の方は、印鑑と本人確認のできる書類(健康保険証・運転免許証など)を持参してください。
- ◆支給枚数 いずれも12枚
- ◆対象者 横手市在住で4月1日現在で65歳以上の方(昭和20年4月1日以前に生まれた方)
- ◆健康づくり入浴サービス券
⇒協力施設の入浴料のおおむね半額で利用できます
※詳細は併せて交付される「しおり」に掲載
- ◆はり・きゅう・マッサージ施術券
⇒施術1回あたり1,000円を助成します
- ◆問合せ 市福祉環境部高齢ふれあい課(大森庁舎内) ☎35-2134、または各地域局市民福祉(福祉)課

市長面会日のお知らせ

- ◆日時 4月28日(水)午前9時~10時30分
- ◆申込期限 4月23日(金)※1人につき15分程度
- ◆申込み・問合せ 市総務企画部市長公室秘書担当 ☎35-2111(内線)1033,1034

はしか予防接種を受けましょう!

4月は『秋田県はしか排除推進月間』

- *はしかには特効薬がなく、かかった人のおよそ千人に1人が亡くなる病気です。しかし、2回のワクチン接種で、ほぼ全員がはしかにかからずにすみます。
- *1歳児、年長児、中学校1年生、高校3年生の年齢相当の方は接種費用が無料になりますので、この機会に予防接種を受けましょう!
- ◆問合せ 市福祉環境部保健衛生課(大雄庁舎内) ☎35-2185

挑

市長コラム ③

横手市長 五十嵐 忠悦

新たなまちづくりへの挑戦 その「元年」にあたり

この4月、地域づくり協議会がスタートします。元氣の出る地域づくり事業には、総額2億円を充てることとし、当初予算にそのうちの4分の3を計上しました。残る4分の1は、協議会発足後に検討していただきますが、地域づくり予算を練り上げることで地域づくり協議会の運営は、今年度の大きな命題のひとつと言えます。

自分の地域の「まちづくり」は自分たちで考えていく。これからのまちづくりはそうでした。「住民自治」が基本になると考えます。そのためには、地域づくり協議会の発足と地域づくり予算が、各地域で独自の知恵を出し合おうという意識に結びついてくれることに大きな期待を寄せています。

同士がライバルのような状況を作り上げるのが当面のねらいです。他の地域の事例に刺激を受けながら、自分たちの地域に合ったやり方を自ら考えていくことが重要で、そこそがまさしく合併効果だと思っております。それぞれの地域がそれぞれの特徴を活かしてまちづくりを進める中で、「オンリーワン」を見つけるために、お互いに刺激し合うことも大事になります。

地域づくり協議会の運営や活動についても、しばらくは試行錯誤が続くと思います。「組織は立ち上げて、うまく機能するのか」という懸念の声は私の耳にも届いています。確かに一気にはうまくいくとは思っていませんが、そういう試行錯誤のプロセスを経なければ、前に進むことはできないと考えています。

今は、多少の時間をかけても、自治のトレーニングを積んでいく段階にあります。それをサポートするために、地域づくり支援課を設置しました。私や副市長を含め、市役所全体がオーガナイザー(世話役)の役割を果たしながら、コツコツと実績を積み上げていきたいと思っています。これからの自治の在り方を考えながら、まずは身近な地域づくりの仕組みをどう築き上げていくのか。その挑戦がこれから始まります。

JAおものがわに消防庁長官表彰



五十嵐市長に受賞報告に訪れた福岡組合長(右)

2月25日、平成21年度消防団等地域活動の表彰式が日本消防会館(東京都)で行われ、おものがわ農業協同組合(福岡正樹代表理事組合長)が、消防庁長官表彰を受けました。同組合は、全従業員87人中32人が消防団に在籍。消防団活動への深い理解と協力で、地域防災に大きく貢献していると認められたものです。

日赤秋田支部から防災用品贈られる



2月26日、日本赤十字社秋田県支部から移動炊飯器とAEDが市に寄贈され、それぞれ十文字・大雄地域局に配備されることになりました。贈呈にあたって、樋渡事務局長(写真左)は「地域の防災に役立ててほしい。また、災害時だけでなく防災意識の啓発につながることも期待したい」と述べました。



図書館ホームページ (利用案内・蔵書検索・予約など)
http://www.city.yokote.lg.jp/kakuka/toshokan/library_introduction.jsp
 ■問合せ 雄物川(中央)図書館 ☎22-2300 または最寄りの図書館まで

●今月の一冊

親子で楽しむ『こども論語塾』その3 安岡定子=著/明治書院

論語というと何か硬く難しいイメージですが、「子曰わく…」で始まる一節は、どなたでも何度か耳にしているのではないのでしょうか。本書は3作目で、紹介されている論語は少し長めのものが多いのですが、書き下ろし文と原文、訳文の他に、子ども用の解説文もありとても分かりやすい内容になっています。声に出して読むことで、語感の良さを楽しみながら、家族で孔子の教えを話し合ってみてはいかがでしょうか。



【増田図書館】

●新着図書を紹介

〔 〕内は所蔵図書館名
 横=横手、増=増田、平=平鹿、雄=雄物川
 森=大森、十=十文字、大=大雄、山=山内

一般向け

- 妻を看取る日/垣添忠生 [平・森・十]
- わらしこの昭和~昭和30年代、みちのくの子どもたち~/小野幹 [平]
- リンゴの絆/木村秋則 [増]
- 香をたのしむ/一条真也 [横]
- 深重の橋 上・下/澤田ふじ子 [雄・森]

児童向け・絵本

- くさいくさい!/和田登(文)・和田春奈(絵) [横・十]
- 学校クエスト~ぼくたちの罪~/中松まるは [雄・森]

●おはなし会 (会場は各図書館)

- ・4月10日(土)午前10時30分/十文字
- ・4月17日(土)午前10時/平鹿、午後2時/増田
- ・4月18日(日)午前10時30分/雄物川・大森
- ・4月23日(金)午前10時30分/十文字

●パソコンや携帯電話で予約してみよう!

パソコンでの資料の検索・予約は下記アドレスから。
<https://lib.city.yokote.lg.jp/Web0pac/webopac/index.do>
 携帯電話でのご利用はQRコードから。→
 パソコンや携帯電話での予約には、図書館利用カードの利用者番号とパスワードが必要です。カードやパスワードの発行は、これまでの図書館利用カードと本人確認ができるものをお持ちのうえ、各図書館窓口にお越しください。



コーラスサークル(大雄)
大雄コーラスメート



みんなの心がひとつになり、美しいハーモニーを奏でるコーラス。手軽に参加できる生涯学習として多くの方から親しまれています。

大雄コーラスメートは、昭和52年に歌の好きな仲間が集まり結成。50代から70代の会員28人が所属し、地域の生涯学習発表会や横手・平鹿合唱連盟の合唱祭に向け、毎週木曜日の午後7時30分から大雄ふれあいホールで、声の出し方や口の開き方、息継ぎに注意しながら練習に励んでいます。

「ハーモニーの心地よさにはまって、コーラスを続けています。疲れた心も練習に参加すると癒されます」と笑顔で話す会員の皆さん。

代表の佐藤さんは「決して背伸びをせず、“自分たちが楽しく”を第一に活動しています。練習を重ねていくうちに、コーラスのおもしろさがきっと分かります。興味のある方は一度見学に来てください」と話していました。

◆問合せ 佐藤さん ☎090-9033-6978

◆これからしてみたいことは?
 北海道に旅行してみたいです。中学校の修学旅行で一度行きましたが、おいしい食べ物や広々とした景色がとても印象に残っています。

◆好きな異性のタイプは?
 優しく、自分を引っ張っていつてくれる人がいいです。私の両親がすごく仲が良いので、自分も結婚したら両親のようにになりたいと思います。

◆これからの笑顔がまぶしい香さんは、横手セントラルホテルに勤務しています。職場では受付を主に、ホテル内のサービスマも広く担当。「わかりやすく仕事を教えてくれる頼もしい先輩ばかりなので、楽しく仕事をしています。私にとって、お客様からいただく『ありがとう』の一言が一番の宝物。いつでも笑顔を大切に、自信をもって接客ができるようにがんばっていきなさい」と元気に語ってくれました。

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式でご紹介します。佐藤さんは、前回の安田さやかさんからのご紹介です。
 ※前回のフレッシュさんのお名前に誤りがありました。改めて訂正してお詫びいたします。



佐藤 香さん
 さとう かおり(23歳・大雄)



渡部 清隆さん
 わたなべ きよたか(41歳・雄物川)



よねや商事(株)で「スーパーマーケットよねや角館店」の店長も務める清隆さんは東京都目黒区出身です。現在お住まいの雄物川地域は妻の美佳子さんの出身地。お二人は清隆さんが20歳のときに東京で出会い結婚し、平成6年に横手の生活を始めました。

横手では雪や寒さよりも言葉に大苦戦。「お客様に『まめのご(きなこ)』の売り場を尋ねられたり、同僚に店内の水場で『つっぱかえ(栓をしない)』と言われても意味が全くわかりませんでした。今では笑い話ですが、言葉の壁は客商売にとって致命傷。慣れるのに必死でした」と当時の苦勞を振り返ります。

「これからもお客様に育てていただいた感謝の気持ちを忘れずに、地域のお役に立てるようがんばっていきなさいと思います。横手は自然が豊かで人々の繋がりが強いアットホームな街。自分の子どもたちには、横手出身だということをもいつまでも誇りに思ってもらいたいです」と語る清隆さん。地域を愛し、がんばるお父さんの笑顔が、今日もたくさんのお客様を迎えています。



いどばたプラザ

idobata plaza

「いどばたプラザ」は、市民団体やNPOなど行政以外からのお知らせを掲載するコーナーです。掲載を希望する場合は、発行日の15日前までに内容がわかるものをお寄せください。なお、内容や情報量などによって、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

人と愛犬のための教室

●日時/毎月第2・第4土曜日、午後2時～4時 ●場所/旭ふれあい館 ●参加費/2,000円(年間) ●内容/初めて犬を飼う方への指導、犬のしつけ指導など ●問合せ/(社)日本動物病院福祉協会秋田チーム「コロのしっぽの会」

『NPO法人よこてスポーツクラブ』新規会員募集!

平成22年度の新規クラブ会員を随時募集します。
●内容/テニス(硬式・軟式)、バドミントン、ストレッチ、ヨガ、太極拳、健康教室他 ●年度会費/3,000円 ●参加費/1回につき300円 ●申込み/NPO法人よこてスポーツクラブ(横手体育館内) ☎33-2102

『つかえる英語講座』(外国人教師による英会話教室)

●日時/4月6日(火)・20日(火)、午後7時～9時 ●場所/かまくら館 ●受講料/1回1,000円(初回無料) ●問合せ/田口さん ☎080-1829-4754

南部シルバーエリア イベント案内

【『和布の思い出』押絵作品展(神岡嶽友大学押絵学科作)】
●期間/4月10日(土)～30日(金)午前9時～午後5時 ●入場料/無料

【創作太巻き寿司教室『ばらの花』】

●日時/4月25日(日)午前9時50分～ ●参加費/1,000円(材料費・保険料込) ●定員/32人 ●申込期限/4月18日(日) ●持ち物/巻きす、布巾、へら、エプロン、筆記用具 ●申込み/南部シルバーエリア ☎26-3880

第23回『横手風揚げ大会』

●日時/4月11日(日)午前8時30分から受付 ●場所/グリーンスタジアムよこて駐車場 ●参加費/無料、風のない方には手作り風を1枚500円で販売します ●問合せ/木島さん ☎32-0706

忘れないで、飼い主のマナー!

ペットとして飼われている犬の苦情や相談が増えています。飼い主がマナーを守り、犬のしつけをきちんとし、周りの方に迷惑をかけないようにご協力ください。
◎散歩の際は、必ず引き綱(リード)を付け、周囲に不安を与えたり、危害を加えたりしないよう十分注意しましょう。
◎放し飼いは絶対にやめましょう。
◎必ずフンの後始末をしましょう。
◆問合せ 市福祉環境部 保健衛生課 ☎35-2185



横手星の会『春の星座の探し方・星雲・星団の観察』

4月から10月の毎月第3土曜日に星の観察会を行います。
●日時/4月17日(土)午後7時～9時(雨天・曇天は中止)
●場所/秋田ふるさと村第四駐車場 ●参加費/無料 ●問合せ/武市さん ☎33-3997

横手EM環境フレンド推進会『EMダンゴ』作り

EM菌を活用し、沼の水質浄化活動を行っています。
●日時/4月18日(日)午前10時～12時 ●場所/仁坂除雪車庫(ローソン隣り) ●問合せ/青川さん ☎32-6845

自然を愛する皆さんの集い

●日時/4月18日(日)午後1時開演 ●場所/煉瓦屋(寿町) ●内容/講演:『アトピーって病気?』、ジャズライブ ●参加費/800円(軽食付) ●問合せ/煉瓦屋 ☎33-2811

ディンプルアート(ステンド風 不思議塗り絵)教室

●日時/4月20日(火)、①午前9時30分～、②午後1時～ ●場所/かまくら館 ●参加費/2,000円(材料代等) ●定員/各10人程度 ●問合せ/ディンプルアート秋田県南事務局 二戸さん ☎25-3560

『絵手紙無料体験教室&作品展』

道具はすべてこちらで用意します。申し込みは不要ですのでお気軽にお越しください。
●日時/4月23日(金)午後2時～4時※作品展は午後1時～4時30分 ●場所/かまくら館 ●問合せ/ふるさと村絵手紙の会 奥山さん ☎090-9428-5547

第2回『十文字さくら音楽祭』

市内外で活躍する演奏家の方々による音楽祭です。
●日時/4月29日(木・昭和の日)午後1時～4時30分 ●場所/十文字文化センター ●入場料/500円※前売券は道の駅十文字にて販売 ●問合せ/高橋さん ☎42-1196

まつ毛エクステーションの事故が増えています!

人工まつ毛を付ける「まつ毛エクステーション」が流行しているなか、接着剤によるかぶれや目の損傷などの事故が報告されています。美容師の免許を持たない者による施術はできないこととなっています。施術に伴う事故が起こることを認識し、施術前には十分なカウンセリングを受けましょう。
◆問合せ 市福祉環境部 環境課 ☎35-2184

情報

information

お知らせ 平成22年度の土地・家屋の評価額を縦覧します

市に納税義務のある方は、市内の土地や家屋の評価額を記載した帳簿を縦覧し、自分の資産と比較することが出来ます。また、縦覧期間中は固定資産課税台帳を無料で閲覧でき、自分の資産の評価額や課税標準額を知ることが出来ます。ご覧いただく際は、申請者の本人確認のための身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をご持参ください。なお、代理人の場合は委任状が必要になります。
◆縦覧期間/4月1日(木)～5月31日(月)※土日、祝日を除く
◆時間/午前8時30分～午後5時15分
◆縦覧場所/市財務部資産課税(横手庁舎2階)
◆閲覧場所/縦覧場所と同じ、または各地域局地域振興課

募集 えがおの丘水泳教室 新規会員募集

年齢や目的に応じたコースを用意していますので、お気軽に参加ください。申し込みは随時受け付けています。ただし、学童(小学校1・2年生)の新規申し込みは、4月11日(日)午前10時からフロントにて受け付けます。(先着20人程度、整理券は午前9時30分頃配布予定)
◆コース/学童(小学生)、成人(レベルアップコース)、レディース、アクアビクス、成人(日中コース)、初級アクア教室、ヘルスアップ教室
◆受講料/月謝制
◆学童コース/週1回500円
◆成人コース/週1回900円 ※教室後の温泉1時間サビスタ付
◆申込み/雄物川温泉保健施設 えがおの丘 ☎22・2221

5月27日(木)・28日(金) 第6類(乙種)講習期間

5月31日(月)・6月1日(火) 場所/ルポールみずほ(秋田市) ●受講料/10,500円(協会会員)、13,650円(非会員) ●申込期間/4月12日(月)～30日(金)
◆問合せ/市消防本部予防課 ☎32・1218

講座 横手市手話奉仕員 養成講座入門(全18回)

初めて手話を学ぶ、18歳以上の方を対象とした入門講座です。
◆日時/①4月24日(土)午後1時～3時、②4月27日(火)午後7時～9時、③4月30日(金)午後7時～9時、④5月3日(月)午後7時～9時、⑤5月6日(木)午後7時～9時、⑥5月9日(日)午後7時～9時、⑦5月12日(水)午後7時～9時、⑧5月15日(土)午後7時～9時、⑨5月18日(火)午後7時～9時、⑩5月21日(金)午後7時～9時、⑪5月24日(日)午後7時～9時、⑫5月27日(水)午後7時～9時、⑬5月30日(土)午後7時～9時、⑭6月2日(月)午後7時～9時、⑮6月5日(木)午後7時～9時、⑯6月8日(日)午後7時～9時、⑰6月11日(水)午後7時～9時、⑱6月14日(土)午後7時～9時

募集 農業ヘルパー登録者募集

横手市農業ヘルパー組合では、農繁期などに農作業に従事する農業ヘルパーを募集しています。年齢・性別などは問いません。
◆申込み/横手市みどり公社 ☎35・6090

募集 平成22年度JICA ボランティア募集

◆対象/シニア海外ボランティア(満40歳から69歳までの日本国籍を持つ方、青年海外協力隊)満20歳から39歳までの日本国籍を持つ方
◆申込期限/5月17日(月)
◆説明会/4月17日(土)、(シニア海外ボランティア)午前10時30分、(青年海外協力隊)午後2時、秋田市アルヴェにて
◆問合せ/青年海外協力協会ボランティア担当 ☎022・223・4772

お知らせ 消防設備士 試験準備講習会

講習会の案内・申込書は市消防本部で配布しています。また、(社)秋田県消防設備保守協会のホームページからも入手できます。
◆第1類(甲・乙種)講習期間/5月25日(火)・26日(水)
◆第4類(甲・乙種)講習期間/5月25日(火)・26日(水)

相談 横手市雇用創出協議会 キャリア相談

就職や進路、起業、創業などの個別相談を受け付けています。ご希望の方は、事前に電話などで申し込みください。
◆申込み/横手市雇用創出協議会事務局(市商工労働課内) ☎45・3990

相談 無料法律相談

◆日時/4月13日(火)午後1時～3時※要予約、託児あり
◆場所/横手保健所
◆対象/男女間のトラブルなど法的な解決を必要とする方
◆定員/4人(1人30分)
◆申込み/秋田県中央男女共同参画センター1階 ☎018・836・7846

笑顔がいっぱい



おともだち

休館日

お出かけ前にご確認ください

横手図書館	4月1・7・14日
増田図書館	4月1・5・12日
平鹿図書館	4月1・6・13日
雄物川図書館	4月1・7・14日
大森図書館	4月1・6・13日
十文字図書館	4月1・7・14日
山内図書館	4月3・4・10・11・17・18日
大雄図書館	4月1・5・8・12・15・18日
雄物川資料館	4月5・12日
ゆっぶる	4月21日
えがおの丘	4月1・2・5・12日
三吉山荘	4月6・13日
大森健康温泉	4月5・12日
ゆとりおん大雄	4月1・15日
南部シルバーエリア	4月5・12日
健康の駅トレーニングセンター	
東部	4月7・14日
西・南部	4月3・4・10・11・17・18日
子どもと老人のふれあいセンター	4月5・12日

休日救急当番医

【診療時間】9:00~12:00(午前中のみ)

- ◆4月4日(日) 渡邊医院[大雄] ☎52-3108
- ◆4月11日(日) 石田内科医院[横手] ☎33-1233
- ◆4月18日(日) 聖愛内科胃腸科クリニック[十文字] ☎42-2233

■平鹿総合病院
日曜夜間小児救急外来 ☎32-5124

【受付時間】18:00~21:00
【診療時間】18:30~21:30

- ◆4月4日(日) 石橋医師(石橋小児科医院)
- ◆4月11日(日) 無江医師(醍醐クリニック)
- ◆4月18日(日) 岡田医師(岡田小児科医院)



診療所

【増田地域】

増田町診療所(耳鼻咽喉科)
診療日 4月7・14日(水)
診療時間 14:00~15:30

【雄物川地域】

えがおの丘診療所
診療日 4月7・14日(水)
診療時間 14:30~15:30

大沢診療所
診療日 4月12日(月)
診療時間 13:30~14:30

献血日程

月日・地域	実施場所	実施時間	種類
4月5日(月) 横手	イオンスーパーセンター横手南店	10:00~12:00	全血
		13:00~16:00	
4月7日(水) 大雄	横手市役所 大雄庁舎	10:00~12:00	成分
		13:00~16:00	
4月15日(木) 横手	N T T東日本・秋田 横手ビル	9:30~11:30	全血
	J A 秋田ふるさと本店	13:00~14:15	
	横手興生病院	14:45~16:00	

相談

【市内全地域対象】

無料税務相談 ■場所 横手市社会福祉協議会
日時 4月8日(木) 10:00~12:00、13:00~15:00
問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668

社会保険年金相談 ■場所 横手地域局 1階相談窓口
毎週月曜~木曜日 10:00~12:00、13:00~15:00
問合せ 横手地域局 1階相談窓口 ☎32-2111内線2182

【横手地域】

無料法律相談 ■場所 横手市社会福祉協議会
日時 4月7日(水) 10:00~15:00(要予約)
問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668

心配ごと相談 ■場所 横手市社会福祉協議会
日時 4月15日(木) 9:30~12:00
問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668

行政相談 ■場所 横手地域局 1階総合案内(受付)
日時 4月9日(金) 13:00~15:00

育児相談 ■場所 子育て支援センターなかよし
毎週月曜~金曜日 9:00~17:00
問合せ 子育て支援センターなかよし ☎32-6933

【増田地域】

無料法律相談 ■場所 増田地区多目的研修センター
日時 4月19日(月) 10:00~12:00(要予約)
問合せ 増田福祉センター ☎45-4848

心配ごと相談 ■場所 増田地区多目的研修センター
日時 4月8日(木) 9:30~12:00

【平鹿地域】

無料法律相談 ■場所 平鹿福祉センター(ゆとり館)
日時 4月6日(火) 10:00~12:00(要予約)
問合せ 平鹿福祉センター ☎24-3283

心配ごと相談 ■場所 平鹿福祉センター(ゆとり館)
日時 4月7日(水) 9:30~12:00

【雄物川地域】

心配ごと相談 ■場所 雄物川コミュニティセンター
日時 4月14日(水) 9:30~12:00

【大森地域】

無料法律相談 ■場所 大森コミュニティセンター
日時 4月16日(金) 10:00~12:00(要予約)
問合せ 大森福祉センター ☎26-3274

心配ごと相談 ■場所 大森コミュニティセンター
日時 4月13日(火) 9:30~12:00

行政相談 ■場所 大森コミュニティセンター
日時 4月13日(火) 13:30~15:30

【十文字地域】

心配ごと相談 ■場所 幸福会館
日時 4月2日・16日(金) 9:30~12:00

【山内地域】

心配ごと相談 ■場所 山内福祉センター(ゆうらく館)
日時 4月6日(火) 9:30~12:00

【大雄地域】

心配ごと相談 ■場所 大雄福祉センター
日時 4月9日(金) 9:30~12:00



市では、平成21年度から広報モニター制度を実施して、広報モニターや地域協議会委員の皆さんから、市の広報活動に関するご意見をお聞きしました。

そのご意見をもとに、市報は平成22年度の編集方針を「新たな地域づくりと市民との協働、連携に役立つ広報紙」とし、紙面の充実と市ホームページとの連携による情報発進力の強化を図ります。

その一環として、「市報よこて」を次号から一部リニューアルしますので、主なものをお知らせします。

●「イベントカレンダー」を衣替えします

毎号、最終ページに掲載している『イベントカレンダー』を『暮らしのカレンダー(仮称)』に改め、これまでのイベント・行事予定に加え、地域の情報としてお知らせしてきた「各種相談日」や「当番医」などをカレンダーに掲載します。

なお、「乳幼児検診・予防接種」の日程は、対象者に直接通知されていますので、今年度から市報への掲載を取りやめます。

●各コーナーの見直しを行います

市としてお知らせすべき情報を優先しながら、市の取り組みや市内の動きをより幅広くお伝えするため、各コーナーの掲載号を見直し、通常版の1日号では生き生きと活動する市民の皆さんをご紹介し、15日号はお知らせ版としてしっかりと情報を伝える役割を果たしたいと考えています。

●ホームページとの連携を強化します

情報発信、情報収集の両面で欠かすことのできないメディアであるホームページと市報との連携を強め、より活用しやすい情報提供に努めます。

なお、インターネットの利用が難しい環境にある方には、市長公室広報広聴担当が最寄りの地域局地域振興課で閲覧(または印刷)できることとしていますので、お気軽にご利用ください。

4/4~10 春の火災予防運動実施

-いのちを守る7つのポイント-

- ・寝たばこの禁止。
 - ・ストーブは燃えやすいものから離して使用する。
 - ・ガスコンロのそばを離れるときは必ず消火する。
 - ・逃げ遅れ防止のため住宅用火災警報器を設置する。
 - ・寝具やカーテンは防災品を使用する。
 - ・初期消火のため住宅用消火器などを設置する。
 - ・隣近所の協力体制を整える。
- ◆例年、春先は枯草が燃える火災が多く発生しています。火の取り扱いに気をつけましょう。

巧

たくみ Vol. 53

中華そば店



昔から変わらぬ味 今日も「最高の一杯」を提供

あっさりスープとちぢれ麺が特徴の中華そば。現在「十文字の中華そば」は、その名を全国にとどろかせている。老舗中華そば専門店『丸竹食堂』の店内に入ると、独特の魚介ダシの匂いが鼻をくすぐり、食欲をそそる。威勢の良い「いらっしゃい」の声からは想像もつかない小柄な巧が奥の厨房で今日も腕を振っている。

巧が提供する一杯は、器の底が見えるほど透き通ったスープと、麺に合わせて添えられた細切りメンマが決め手。化学調味料を一切使わず、素材の味をそのまま活かしたこだわりのスープは、長年守り続けてきた変わらぬ味である。

12歳のころから地元中華そば店に見習いとして入り、半世紀以上にわたり中華そば作りに携わってきた。「あのころは、手に職をつけたいと思っていた。そのおかげで、今もこうしてお客さんに「おいしい」を提供できている。ただ、調理師免許取得と起業のときは大変だったね。学業は後回しにしていたから」と豪快な笑顔で当時を振り返る。——その明るく茶目っ気たっぷりな人柄もお客さんを惹きつける理由の一つだろう。客足は途切れることがなく、休日は県外からのお客さんも多い。常連客の中には、巧に会うために来店する人も少なくないという。

自分の背丈ほどの大なべが並ぶ厨房で、守り続けている繊細な味。そこには、変わらぬ味を提供し続けたいという確固たる信念がある。



小野寺 タケさん(79歳・十文字)

おのでら たけ 昭和6年、旧十文字町生まれ。12歳のころから地元の中華そば店に見習いとして入る。独学で調理の勉強を続け調理師免許を取得し、22歳のときに丸竹食堂を創業。現在も自ら厨房に立ち、息子・一生さんにその味を伝承している。長年の功績をたたえられ、平成21年度市技能功労者表彰を受賞。



自分の味は目をつぶっても作れる。作り方は体に沁みこんでいるんだよ。

あとがき 三月、四月は別れと出会の季節。広報担当内にも異動があり、この四月で広報部を去ることになりました。私の二年間の中で一番の思い出は「市報よこて」が全国コンクールで入賞したこと。前々からの担当者の方の力が高く評価された結果だと、ありがたく思いました。同時に、市報を手にとった皆さんのみなさんからの情報や気付き、お叱りなどで育ててもらっていること、再確認し感謝しています。これからもみなさんのお声を、お聞かせください。お待ちしております。(千春)

締め切りは **4月25日** (消印有効)

応募方法 「読者の声」のおたよりには、郵便番号、住所、氏名、年齢と発行号(4月1日号)を明記してお送りください。 ※当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

【提供】市産業経済部実験農場 0525-22532



市報よこて 読者プレゼント 今月のプレゼント 春探りの味「陽みつば」 市実験農場と農家が共同で栽培研究し、春採り切りミツバとして昨年デビューした「陽みつば」。根ミツバなみのポリウムとシャキシャキした食感が特徴です。1袋100g入り2袋を、5名様にプレゼントします。

3月に入り、めっきり春らしくなってきました。私の散歩コースは堤防。日当たりの良い斜面はバツケが顔を出していました。さっそく天ぶらバツケ味噌にし、一足早く春の味覚を堪能。しあわせを感じました。(岩ちゃんさん・58歳・十文字)

何年かぶりに市立病院に行きました。受付の方が親切、丁寧で印象が良かったのです。大鳥井山遺跡の展示会と公開講座を楽しんできました。多くの人が集まったことに驚

子ども頃はどこの家でも「いぶし大根」を作っていました。天井に吊るした大根が所狭しと下がっていて、煙が上へのぼって屋根からの光で青白くなっていたのを覚えています。若い人がこれを作ろうとすることはとても素晴らしいことだと思います。スパーに行けば手に入る食材ですが、やはり人の手をかけるということも必要だろうし、多くの人が経験して、作れるようになればと思います。(太田生子さん・56歳・大森)

バンクーバー冬季オリンピックも終わり、秋田県出身選手との健闘を、県民として賞賛するとともに誇りに思いました。スポーツ立県宣言の幕開けにふさわしく、来年の冬季国体の受諾というニュースもあり、暗い世相に明るい灯を感じます。3月5日には、平成21年度の秋田県スポーツ賞の授与式が行われ、市内からも栄光賞に横手清陵学院高校の石田あかね選手(陸上競技)、

木戸五郎兵衛村でのかまくらまつり。がっこうにお餅、お茶っこ、どれももうめがたつ。お母さんたち、ご苦労さまでした。(K・Fさん・50歳・山内)

子どもの頃はどこの家でも「いぶし大根」を作っていました。天井に吊るした大根が所狭しと下がっていて、煙が上へのぼって屋根からの光で青白くなっていたのを覚えています。若い人がこれを作ろうとすることはとても素晴らしいことだと思います。スパーに行けば手に入る食材ですが、やはり人の手をかけるということも必要だろうし、多くの人が経験して、作れるようになればと思います。(太田生子さん・56歳・大森)

今年は雪の心配もなく小正月行事も終わり、陽の暖かさに春の気配が感じられ、老いた体にはうれしい季節になりました。それとはうらはらに、田畑の雪が消えるとまた忙しくなります。ゆっくりできるのは今のうちとばかり、映画を観に行ったり、お茶っこ飲みをしたりして鋭気を養っています。また、今年も父さんと二人頑張るぞ！。(Y・Sさん・70歳・平鹿)

◆S・Sさんのお手紙は、広報に情報提供として届いたものですが、『たより』としてご紹介させていただきます。勝者の笑顔の陰に、人知れぬ努力や挫折、悔し涙など多くのドラマがあり、それが人々の心を動かし、次なる挑戦へと向かわせる競技スポーツの世界。たゆまぬ努力で栄誉を勝ち得た受賞者に心からの賛辞を贈るとともに、これから新

◆市民の方から「横手地域周辺の駐車場が満車になり困ることがある」とのご意見がありました。横手庁舎の駐車場は、来庁者が増加していることに加え、税金の申告時期やかまくら館で催しがある場合、また市議会の開会時などはたいへん混み合い、市民の皆さんにご不便をおかけしています。前もって混雑が予想される場合には、職員の車の乗り入れを控えることや乗り合わせ、自転車利用等を徹底いたします。あわせて、議会開会時の議員の駐車場も含めて、少しでも市民の皆さんのご不便を解消できる方法を市として考えてまいります。



ふれあい 語り合い

読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声をお寄せください。

おたよりお待ちしております

『読者の声・たより』は読者の皆さんのページです。市への意見や市報の感想などを、はがきか封書、ファクスで下記のあて先までお送りください。おたよりには、必ず住所、氏名、年齢、連絡先をご記入ください。(市報に掲載する場合にはペンネームかイニシャルを希望する場合は、氏名の後に記入してください)

なお、おたよりをくださった方の中から、抽選で『読者プレゼント』の商品を差しあげます。プレゼントの応募方法は23ページをご覧ください。

【たより】のあて先 〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号 横手市役所市長公室 広報広聴担当あて ☎33-6061 (「たより」と明記ください)

※ご記入いただいた個人情報、記載内容の確認および商品の発送の目的に使用し、この目的以外には使用しません。

イ

Event Calendar

イベントカレンダー

4月1日～4月17日

4/ 1 (木)	増田まんが美術館特別企画展「きくち正太原画展『百花繚乱』」(～4日)
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	サケの稚魚放流(9:20～、黒川地区西河畔公園園立ちの里)
5 (月)	
6 (火)	平成22年度 横手市立小中学校入学式
7 (水)	◆4月6日(火) 小学校/境町、黒川、南(雄物川)、福地、田根森 中学校/鳳、横手西、金沢、平鹿、雄物川、大森、十文字、山内、大雄
8 (木)	◆4月7日(水) 小学校/横手南、朝倉、栄、金沢、増田、浅舞、吉田、醍醐、雄物川北、大森、十文字第一、十文字第二、植田、睦合、山内、阿気 中学校/横手南、増田
9 (金)	◆4月8日(木) 小学校/旭
10 (土)	
11 (日)	映画『アンダンテ～稲の旋律～』上映
12 (月)	
13 (火)	
14 (水)	道の駅さんない 10周年記念大感謝祭
15 (木)	◆日 時/4月24日(土)・25日(日) 10:00～15:00 ◆場 所/道の駅さんない 特設広場 ◆内 容/恋し浜ホタテ貝、手打ち流しそば、お菓子まき、そば打ちアマチュア選手権(25日)など ◆問合せ/道の駅さんない ☎56-1600
16 (金)	
17 (土)	【同時開催】ウッディ木の香「木の香まつり」 ◆内 容/大抽選会・木工品特価販売など

親子でどうぞ～南部シルバーエリア無料映画会

- ◆上映時間/午後1時～
4日(日)「ムーミン谷の彗星」 [62分]
11日(日)「ハウルの動く城」 [119分]
- ◆問合せ/南部シルバーエリア(大森町) ☎26-3880

横手市自主文化事業 講演会

『野村再生工場』

～叱り方・褒め方・教え方～ 弱者の戦略

■4月22日(木)

東北楽天ゴールデンイーグルスの前監督で、今季から同球団の名譽監督に就任した野村克也氏の講演会を開催します。

野球に限らず、仕事や子育てなどさまざまなことに通ずる『野村理論』をこの機会にぜひお聴きください。

◆時 間/19:00開演(18:30開場)

◆場 所/横手市民会館

◆入場料/2,000円(全席自由)

※チケットは横手市民会館、カシワヤ楽器、楽器の店カネキ、金喜書店、かまくら館で販売しています。

◆問合せ/横手市民会館 ☎32-3136



Pick Up!!

大学コンソーシアムあきた公開講演会

『平鹿・仙北における伊勢商人の系譜』

■4月24日(土)

秋田の屋号では近江屋、加賀屋など、江戸時代に他国から移住した商人が多いことに気づきます。

この講演会では、平鹿・仙北に進出した伊勢商人を辿って紹介します。

◆時 間/15:00～16:30(14:30開場)

◆場 所/秋田大学横手分校
(市役所南庁舎講堂)

◆受講料/無料(要申込み)

◆講 師/秋田大学名誉教授 金見紘征氏

◆申込み/秋田大学横手分校 ☎38-8304



食と農と大地、そして人間再生の物語!

映画『アンダンテ～稲の旋律～』

◆日 時/4月11日(日)

①10:00～、②14:00～

◆場 所/秋田ふるさと村ドーム劇場

◆入場料/前売1,000円、当日1,300円
(小中高生は当日のみ700円)

※前売券はJ A 秋田ふるさと総務課、または各支店窓口で販売しています。

～ものがたり～

主人公の千華は、母の強い希望で幼い頃から音楽の道を歩むが、競争が厳しく次第に自信をなくしていく。やがて大学も中退し、家に閉じこもるようになった千華は、両親とのいざこざも絶えなくなってしまふ。

千華は、そんな自分を思い詰め、千葉県の水田に「誰か私を助けてください」と書いた紙切れをペットボトルに詰めて置いてくる…。

◆問合せ/J A 秋田ふるさと映画上映事務局 ☎35-2634

秋田ふるさと村 ☎33-8800



市報よこて

2010年(平成22年)
4月1日号
(No.108)

発行/横手市役所 ☎0182-35-2111(代)

編集・デザイン/総務企画部 市長公室

〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号

TEL:0182-35-2162 FAX:0182-33-6061

ホームページアドレス/ <http://www.city.yokote.lg.jp/>